

### 委員長・書記長会議 2017年新年旗開き

日時：2017年1月21日(土)午後  
会場：札幌駅周辺

# 農協労働者

北海道単位農業協同組合・農業共済組合  
労働組合連合会(道農協労連)機関紙  
毎月1日発行 1部30円  
札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル4階  
Tel. 011 (232) 0676  
Fax. 011 (232) 2355  
URL: http://donokyororen.jp  
E-mail: mail@donokyororen.jp  
発行責任者 九村 信吾



### ワーク・ライフバランス 成功の鍵は「自中心」

はじめに、株式会社ワーク・ライフバランスの堀江咲智子氏を講師に招き、ワーク・ライフバランスの考え方、実践について学習しました。堀江氏は、育児や介護を抱える従業員に特化して援助を行うワーク・ライフバランスの考え方を、対象外の人の対立が生まれてしまい、結果的に組織にとってマイナスに働いてしまう可能性があるという指摘をしました。これに対し、ワーク・ライフバランスは、全従業員を対象に、育児や介護だけではなく、プライベートな時間や健康など「ライフ」の部分で大事にするという考え方を説明。「ライフ」の充実で得られる知識や経験を仕事に還元してもらうという考え方がワーク・ライフバランスだと述べました。一方、早く帰れるというメリットも示しました。

## WLB ワーク・ライフバランス

# 労働時間短縮は 経営にもメリット大

農業共済部会(栗栖睦幸部会長)は、11月19日に札幌市内で第25回賃金・労働条件実態交流会を開催。6単組44名が参加しました。



に対応できるような情報共有や後輩の育成などを行うっていくことが必要だと述べました。

### 問題解決の為に必要 因を探ることが必要

ワーク・ライフバランスを実践するには、長時間労働に対する管理職の意識改革や働き方の見直しが必要だと述べ、「夜の方が仕事はかどる」という思い込みを捨てる、終業後に予定を入れて、だらだら残業をやめる、ロジックツリーを用いてやるべき施策を見つける、などの対策が紹介されました。

### 介護は急に起こるもの 日頃からの備えが大切

また、日本の労働生産性の低さや出生率の低下、要介護者数の増加などの社会的背景から、「長時間労働を是正し、労働生産性を上げることは、日本や企業、労働者にとって死活問題となっている」と指摘。特に介護は育児と違い、緊急的に生じる可能性があるとして、①日頃から決められた時間で帰る癖をつける、②急な時間変更

講演後には、グループで職場の問題点の原因分析を行いました。講演内容と職場実態を比較し、ワーク・ライフバランスを実現する上で障害になっていること、その原因を掘り下げて解決策導出のヒントを話し合いました。



## 常呂 2016秋期年末闘争 ベア 0.33% 初任給 1500円増獲得

常呂 台風被害大きい中  
ベア勝ち取る

常呂町農協労組(田淵一委員長)は、人勧の引き上げに伴う初任給1,500円の引き上げ、職員平均0.33%のベアを獲得。交渉時には、台風の災害調査や土日の出役など職員の尽力に対し、組合長から労いと感謝の意が伝えられました。

### 有給休暇取得向上 農業新聞課内購読を

道央農協職組(伊藤豪敏委員長)は、年次有給休暇取得状況の周知徹底・取得向上の取り組みを要求すると共に、農業新聞の課内購読を要

### 美瑛 従業員駐車場の不足 に対し、増設を要求

美瑛町農協職組(江花光春委員長)は、別棟だった販売課の事務所移転に伴い生じた職員駐車場の不足について、農協側に増設を要求しました。しかし、農協は「自動車通勤が当たり前だ」という意識を改革して欲しい」と利用状況を見

### 湧別 55歳以降の労働条件 改善で意欲向上を

湧別町農協職組(平田弥委員長)は、規定に定めている55歳以降の給与カット・役職離脱が、

### 参加者の感想

診療に要している時間のレコーディングを行い、効率的な仕事の仕方を再考したい  
仕事内容の見直しをした  
介護による仕事の制限が差し迫ったもの

また、そこで職場での購読でいいのでは」と論議し、課内購読を要求しました。農業新聞などの強制購入については、助成の有無に関わらず、他の農協でも行われている実態があります。しかし、強制された購読料を給与から天引きされた場合は、労働基準法で定める「賃金全額払いの原則」から反し、違法となります。強制購読ではなく、各職員の意思を尊重し、自由購読とする又は購読料を全額助成させるということも必要です。

美瑛  
従業員駐車場の不足に対し、増設を要求  
美瑛町農協職組(江花光春委員長)は、別棟だった販売課の事務所移転に伴い生じた職員駐車場の不足について、農協側に増設を要求しました。しかし、農協は「自動車通勤が当たり前だ」という意識を改革して欲しい」と利用状況を見

湧別  
55歳以降の労働条件改善で意欲向上を  
湧別町農協職組(平田弥委員長)は、規定に定めている55歳以降の給与カット・役職離脱が、制限するとかえって効率が悪くなり業績が上がるということに印象に残った。積極的に定時で帰るようにします。共済組合の経営陣にこの話を聞かせたい。家に帰ったらもう少しいや、育児を行うようにしたい。

常呂  
台風被害大きい中ベア勝ち取る  
常呂町農協労組(田淵一委員長)は、人勧の引き上げに伴う初任給1,500円の引き上げ、職員平均0.33%のベアを獲得。交渉時には、台風の災害調査や土日の出役など職員の尽力に対し、組合長から労いと感謝の意が伝えられました。

道央  
有給休暇取得向上農業新聞課内購読を  
道央農協職組(伊藤豪敏委員長)は、年次有給休暇取得状況の周知徹底・取得向上の取り組みを要求すると共に、農業新聞の課内購読を要

美瑛  
従業員駐車場の不足に対し、増設を要求  
美瑛町農協職組(江花光春委員長)は、別棟だった販売課の事務所移転に伴い生じた職員駐車場の不足について、農協側に増設を要求しました。しかし、農協は「自動車通勤が当たり前だ」という意識を改革して欲しい」と利用状況を見

湧別  
55歳以降の労働条件改善で意欲向上を  
湧別町農協職組(平田弥委員長)は、規定に定めている55歳以降の給与カット・役職離脱が、制限するとかえって効率が悪くなり業績が上がるということに印象に残った。積極的に定時で帰るようにします。共済組合の経営陣にこの話を聞かせたい。家に帰ったらもう少しいや、育児を行うようにしたい。